

## 第3学年 学級活動（3）学習指導案

### 1 単元名 「家庭学習レベルアップ大作戦！」

学級活動（3） ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用

### 2 児童の実態と本単元の意図

#### （1）児童の実態

（略）

#### （2）題材について

本題材は、小学校学習指導要領特別活動編、第1節学級活動、2内容（3）「一人一人のキャリア形成と自己実現」に関する（ウ）「主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用」を目指すものである。

小学校に入学したときには、全ての学習が楽しく、もっと学びたい、新しいことを知りたいという児童の姿がたくさん見られる。しかし、小学校中学年から高学年になるにつれ、学習がやらされるものになり、保護者や教師からやりなさいと言われたから学習する姿が少なからず見られるようになる。特に、学力低位の児童はその姿が顕著に見られ、学習とはやらされるものだという意識が強い。そんな児童にとって、学習することは楽しいことであり、将来なりたい自分につながる価値あるものだということに気付いてもらいたいと考える。本来、「学ぶ」ということは、学び手がこれまでの既有知識や生活経験と新たな知識や経験をつなげてつくりあげるものであり、他者からやらされる学習では深い学びにはつながっていかない。

さらに、コロナ禍の現在において、児童が自ら見通しをもって学習に取り組み、学習したことを振り返ることで自身の力とする主体的に学習に取り組む態度を育成することは非常に重要である。それは、感染症対策により学校での学習に限界があるからである。このような現状においては、家庭学習によって児童の学力を伸ばすことも必要となる。したがって、本題材を設定する意義は大きいものと考えている。

また本題材は、意思決定したことを実践につなげるという観点から第3学年道徳『あんぱんの日～木村安兵衛・英三～』第4学年道徳『花丸手帳～水泳・池江璃花子選手～』における主題「目標に向かって」の学習につながる内容である。さらに、自分自身を見つめるという観点から第4学年総合的な学習の時間「10歳の主張～将来の自分へ～」第6学年総合的な学習の時間「12歳の主張～伝えよう、わたしの思い～」につながる学習となっている。

### (3) 指導について

本題材において育成を目指す資質・能力は、児童が自身の家庭学習における課題に気づき、将来よりよく生きるためにどのように学習していくべきかを見出し、課題解決のために話し合い、意思決定して実践することである。そのため、児童が主体的に学習しようとする態度を養うことができるよう、自身の学習を振り返り、どのように学習していくべきか理解を深めていくようにする。

事前の活動では、家庭学習に関する児童アンケートを実施し、これまでの家庭学習への取組について考えることができるようにする。また、保護者アンケートもあわせて行い、保護者から見たこれまでの取組についても本時で触れられるようにする。3年生という発達段階では自身を俯瞰的にとらえることが難しい児童がいることが考えられる。そのため、保護者の視点を取り入れ、児童が自身の家庭学習の様子を振り返り、課題に気付けるようにしたい。

導入では、児童と保護者による家庭学習についてのアンケート結果を提示することで、家庭学習の取組についての問題点を明らかにする。さらに、3年生になってからの自主学習ノートで取組を振り返ることで、学習がマンネリ化してきている現状に気付かせたい。そして、家庭学習についての自身の課題を解決していこうという意欲を高めたい。(つかむ)

展開では、将来なりたい自分の姿について取り上げ、そのような自分になるために今の学習がどのように関わっているのかを考えさせる。また、将来なりたい自分と各教科の学習内容を関わらせることで、本校の研究主題ともつなげていく。さらに、高学年児童の自主学習ノートやインタビューを提示することで、学習の仕方や学習する意義についても考えられるようにする。(さぐる)

次に、将来なりたい自分になるためにこれからの家庭学習で何ができるのか、グループの中で自身の考えを伝え合い、思考ツールを活用しながら整理・分析していく。(みつける)

終末では、グループで話し合ったことを参考に自分のめあてやこれからの実践方法を決める。(きめる)

「つかむ」「さぐる」「みつける」「きめる」の一連の学習活動を通し、自身の家庭学習への取組を見直すとともに、これからの目標について意思決定することで、主体的な学習態度の形成につなげていく。

事後の活動として、ワークシートに個々のめあてと実践の記録を書く活動を行う。そして、将来なりたい自分になるためにどのように学習していくべきかを考えられるようにする。さらに、保護者にも取組を知らせ、協力を依頼することにより、冬季休業中にも継続して実践できるようにしたい。

## 3 研究主題との関わり

### 研究主題

「幅広い学習や生活の場面で活用できる力を育む」  
～教科等横断的な指導を通して～



仮説1 意図的に活用場面を設定すれば、習ったことを生活場面で活用できるようになるだろう



手立て① ・生活場면을想起させる授業の工夫  
・知識を活用する場面を生活の中に取り入れていく



### 具体的な方法

- ・児童と保護者のアンケート結果を提示することで、家庭学習について問題意識をもつようにする。
- ・学習したことをもとに自身のめあてを意思決定し、生活の場面で実践していく。

仮説2 いろいろな教科が関わることで、生活場面で活用する教科の幅が広がるだろう



手立て②

- ・教科のつながりがわかる年間指導計画の改善
- ・教科のつながりを見える化、声かけをする



具体的な方法

- ・将来なりたい自分になるために、各教科がどのように関連しているのか考えるようにする。

#### 4 評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことへの意義を理解し、将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことについて、よりよく生きるための課題を認識し、解決方法などについて話し合い、自分に合った解決方法を意思決定して実践している。	現在及び将来にわたってよりよく生きるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを生かし、他者と協働して、自己実現に向けて意欲的に行動しようとしている。

#### 5 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿【観点】(評価方法)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材を知る。</li> <li>・アンケートに答える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題意識を高められるように事前に予告しておく。</li> <li>・児童と保護者にアンケートを実施し、学級の実態を把握する。</li> </ul>	◎アンケートを通して、これまでの家庭学習の様子を振り返ろうとしている。 【態】【アンケート】

#### 6 本時の学習指導ねらい

##### (1) 本時のねらい

- ・学習の意義や大切さについて考えることで現在の学習が将来につながることを理解するとともに、これからの学習の仕方について話し合い、意思決定することができる。

##### (2) 本時の展開

	学習活動	学習内容	○指導上の留意点 ☆教科等横断 ◎評価 ★生活の場面
導入 つかむ	1 児童アンケート、保護者アンケートの結果を見て気付いたことを話し合う。  2 年度当初の自主学習ノートと現在のノートを比べ、その違いを考え、題材をつかむ。		○学級の共通の問題として捉えられるように児童アンケート、保護者アンケートを活用する。出された意見から学級の課題を明らかにし、学級活動の中で解決していこうという意欲を高める。  ○年度当初の自主学習ノートと現在の自主学習ノートを比べ、作業的になっていないか、学習内容が偏ってきていないか等を考え、本時の題材をつかめるようにする。

展 開	3 本時の題材を知る。		○アンケートの結果や気付いたことの発表を踏まえ、教師が本時の題材を提示し、課題の解決に向けて意欲を高める。
	<b>家庭学習レベルアップ大作戦！ レベルアップのためにできることは？</b>		
展 開	4 将来なりたい自分になるために、学習していることがどのように関係しているのか考える。	○学習の意義	☆将来なりたい自分に、どの教科のどの学習が関連しているのか考えるワークシートを使ってまとめるようにする。 ○高学年児童の自主学習ノートやインタビューを活用することで、学習する意義や現在の学習が将来の自分につながっていることをとらえられるようにする。 ◎将来なりたい自分になるために学習することの意義を理解している。 【知識・技能】【発言・学習カード】 ○思考ツールを使い、グループで意見をまとめられるようにする。 ○他の班がまとめた意見を確認し、自分たちがまとめた意見と比べられるようにする。 ★自分なりの具体的なめあてを決められるように支援する。
	<p>今、学習していることは将来の自分につながっているかな？どの教科のどんな学習が将来のなりたい自分につながっているか考えてみましょう。</p>		
展 開	5 家庭学習をレベルアップするためにどうしたらよいかグループで話し合う。		
	6 全体で交流する。	今日の学習をもとに、これからどのように生活していきたいか考えましょう。	
終 末 き め る	7 話し合ったことを参考にし、自分のめあてや実践方法を定める。	○めあての決定	◎自分の今までの学習を振り返り、今後どのように学習していくべきかを考えている。 【思考・判断・表現】（発言・学習カード） ○1週間実践し、自己評価できるようにする。
	8 実践への意欲化を図る。		

## 7 事後の活動

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が決めためあてに向けて1週間程度、実践活動に取り組む。</li> <li>取組について振り返る。</li> <li>家庭にも取組の様子を伝え、学校だけの取組で終わらないように連携する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペアやグループで活動を交流し、児童同士で励まし、認め合えるようにする。</li> <li>達成できなかったことを振り返り、めあてを修正できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来なりたい自分になるために考えた具体的なめあてや実践方法に、進んで取り組もうとしている。【態度】【実践カード・観察】</li> </ul>

## 8 板書計画

<b>家庭学習レベルアップ大作戦！ レベルアップのためにできることは？</b>			
つかむ	さぐる	みつける	きめる
アンケート 結果	将来 なりたい自分	グループで 出た考え	これからのめあて